

6月市議会報告

エ〜〜ッ！ 100年以上？ 今なら止められる！

山崎陽一議員

実現不可能な区画整理を中止せよ

山崎：今回の長期総合計画の資料によるとH15～H28年迄の13年間で事業費ベース10%（35億円）の進捗率となっている。このペースで行くと、この西口区画整理は、120年かかる。事業計画決定時（H15）の資料では、H28年迄で進捗率71%（250億円）だった。長い間、私権を制限され、生活設計が立てられず、関係住民を苦しめることになる。計画は破たんした。即刻中止せよ。

第5次長期総合計画の資料から

	現状(H22年度)	H28年度迄の目標
西口区画整理の事業費ベース進捗率	5%	10%

阿部：今後、2次換地設計(市案)を仮に決定したら、事業計画の変更、また稲荷緑地一部の都市計画変更の手続き(都に計画の変更を申請し、公告・縦覧)に入る。併せて、用途地域を指定し、地区計画を導入した後、街路整備計画、及び建物移転計画の作業を予定している。工区分けして施工計画を立て、本格的な事業に移行していく。事業計画を見直しながら、財政状況を見極めながら対応していく。

山崎：区画整理職員7人分の給与、年間7000万円、10年で7億円、20年で14億円。時間がかかるほど無駄遣いになる。

山崎：今後の5年間の約16億円は何に使うのか？

阿部：換地設計の決定に努力し、事業計画の変更等、様々な手続きを行う。羽村大橋から新奥多摩街道(水道道路)までの接続について都(平成

27年度までに羽村大橋の整備予定)と協議、検討している。
都道の都市計画決定している線の内側の暫定整備を進めていきたい。
線形の外は、換地設計が決定しないと手を触れることは出来ない。

山崎：駅前はどうなるのか？ 駅前の福生側はどうなるのか？

阿部：交番は将来、駅前広場の中に移転するが、予定地が確保できないため、一旦、駅前暫定整備地に動かし仮設し、4m幅の歩行者専用道路が駅舎階段を降りた所につながるようにする。

福生側は、JR線路との間の市有地を使って、(福生側にある駐輪場までの)歩道の暫定整備をする。

多くの反対意見書や署名の意思表示 「第2次換地案に反対する地権者署名」 6月9日、21名追加、合計372名となる

山崎：換地設計2次案の意見書は何通か、また、今後の作業予定を聞く。

市長：意見書は312人から出ている。

意見書について、細部にわたり整理分類、要旨のとりまとめ作業を行い、「意見書の取り扱い方針」を定め、審議会に諮問した後、換地設計案を決定し、事業計画の変更手続き、街路築造計画及び建物移転計画の策定を行っていく予定。

阿部：位置や形状、日照、接道は換地に関係するので、一件一件、審議会に諮り、採択、不採択を決める。減歩や清算金、住環境については直接、換地設計には関係ないので、その他の項目として報告する。

反対の会コメント

市は、減歩や清算金は換地に関係ないというが、権利者の多大な負担となる減歩や清算金は換地に伴い発生するもの。権利者の死活問題を無視する姿勢では、合意は永遠に得られない。

山崎：換地設計2次案の中止を求める署名等について聞く。

市長：「稲荷緑地上の幅8m道路に反対する署名」153名。
「第2次案反対に関する署名」351名が提出された。

2次案は1次案に寄せられた意見・要望を最大限反映し、審議会の意見を聞いて決定したので、これに異なる方針や内容で見直す考えはない。今後も関係権利者の意見を聞きながら着実な事業の進展を図っていく。

阿部 部長：「第2次案反対に関する署名」は、昨日21名の追加があった。土地権利者の会を脱退し、この「西口整備を考える会」の署名をした人がいることも認識している。

反対の会コメント

意見書は出さないが、区画整理自体に反対なので反対署名をしたという人も多い。益々、反対の声は強くなっている。また、市長は審議会の意見を聞いて決定したというが、審議会は非公開で、十分な資料提供や審議がされておらず、無責任な状況だ。

市民をバカにした区画整理課の情報の黒塗り

山崎：審議会の議事録ばかりでなく、区画整理審議会の学識経験者の経歴も名前以外、真っ黒塗りだ。区画整理は我々の財産や権利にかかわる事だ。どのような学識か知りたいのは当然だ。

羽村市情報公開条例の主旨には、「市の持っている情報を市民に公開し、市民の批判を受けなければならない」とある。

総務 部長：(市民から開示するよう)不服申し立てが出たので、今、審査会で議事録の一語一句を審査している。学識経験者については区画整理課と調整、打ち合わせをまだしていないので、内容を確認し話し合う。

反対の会コメント

学識経験者の経歴の公開について、他市の状況を調べると小金井市、稲城市は公開。瑞穂町では、居住地域や選任理由も市民に公開されている。羽村市の区画整理課は異常なほどに、隠して進めたがっている。

— 西口整備を考える会からのお知らせ —

7月17日(日) 2時 ~ 4時 本町会館 2階大広間

・「第2次換地案に反対する署名」の報告会があります。

・署名は引き続き集めます。

鈴木拓也議員

区画整理は時間がかかる。また、賛成・反対に分かれたり、換地のことで地域の絆が壊れる。見直すべき！

この計画は、歴史ある街並みを碁盤の目に、そっくり造り替えてしまうもの。モノレールが箱根ヶ崎からあきる野に抜けることを前提に幅40mなどの道路用地を確保するために、地権者から土地や清算金を取り上げる。そして、清算金の額は事業が終わるまで分からない。

あまりにも大きい住民負担と巨額な税金投入。多くの住民や市民から「見直しを！」の声が上がり続けているのは当然。

意見書や「協力しない旨の通告書」ばかりでなく、新たに2つの署名が出された。住民の合意が取れたとはとうてい言えない。このまま計画を進めれば、虫食いの街並みとなり、憂慮する状況が生まれてくる。全国でも区画整理の見直しが増えている。

鈴木：瑞穂町の9月議会で、都の「10年後の東京」というプログラムに瑞穂までのモノレールは入っていない。東京も税収が下がって来ている。モノレールの時期を問われると非常に厳しいと率直な議論をしている。町田市では、モノレールの整備には時間が掛かるので、新しい交通システムの路線バスの議論をしている。羽村市は必ず来るんだから、やるんだというが、リアルに検討する必要がある。

阿部部長：40m幅が広いかどうかでなく、あくまでも導入空間なので将来を見据え、地域に供せるよう空間を確保し、一般交通の部分と、そうでない部分に分けて土地利用に供していく。

新都市建設公社は割高だ、議会で調査すべき

鈴木：羽村市は財団法人新都市建設公社に委託しているが、割り高だ。昭島市中神では、出来ることは市の職員がやっている。また、契約内容について分かり易い情報提供がされていない。議会として調査する必要がある。

阿部部長：市が独自で出来るものは今後の検討課題と認識している。全て新都市にという考えではなく、見直して行く点は見直していく。

